



Title	彙報（1983年10月～1984年9月の研究活動）
Author(s)	
Citation	大阪外国語大学学報. 1985, 69, p. 95-103
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/81053
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

彙 報

(1983年10月～1984年9月の研究活動)

本期間中に学報のほかに次の研究誌が発行された。

『世界口承文芸研究』第5号

大阪外国語大学口承文芸研究会 (1984. 3. 31)

東洋編

第1部 神話伝説編

神武天皇の神名の由来—イハ・イハレの意味について—	吉 田 金 彦
嵐の話	井 本 英 一
白蛇伝々説の起源を探る	王 驤・著, 綿 丸 篤 子・訳
タイ国王の即位式に見られる宇宙観	吉 川 利 治
タイの王権とインド文化	ククリット・プラーモート・著, 吉 川 利 治・訳
卵生神話とその背景	井 本 英 一
ヴィシュヌ・プラーナの創造神話	奥 田 真 隆
古代イランの捨子型説話 I	森 茂 男
アヴェスタ Yima の伝説	岡 田 明 憲
ナルト伝説	野 田 恵 剛
トルコの伝説	勝 田 茂・訳

第2部 口承文芸・民俗編

朝鮮の民話	北 嶋 静 江
ある老作家との再会—魯迅の未名社をめぐって—	伊 原 沢 周
モンゴル口承文芸の担い手	橋 本 勝・訳
Satua サトゥアーバリ島昔話の世界 (研究ノート)	杉 野 明 久
ベトナムにおける所謂「シンデレラ譚」について	富 田 健 次
伝統的社会の破壊と再建	
カンボジアの社会主義建設を見る	石 沢 良 昭
北部ビルマの住民とその土俗	大 野 徹
パンジャープ民話七編	溝 上 富 夫・訳
インドのなぞ一部族民のなぞを中心に—	古 賀 勝 郎・訳

北インドのなぞ	古賀勝郎・訳
ペルシアの習俗 I	奥西峻介
イランの民話	浜畑祐子・訳
「父は私を殺したの。母は私を食べたの」—「ネズの木」型民話	
（AT 720）のイラン語圏における類話（variants）	
について	ギンガ・マルクス著、竹下政孝・訳
「ネズの木」型民話（AT 720）の社会的	
背景	ギンガ・マルクス著、竹下政孝・訳
「ネズの木」型民話（AT 720）の魔術的・	
宗教的世界観	ギンガ・マルクス著、竹下政孝・訳
西洋編	
第1部 神話伝説編	
オーストリアの伝説（その2）	乙政潤
ケルトの神話—ブリテンの神々を中心として—	井上清子・訳
「ロビン・フッド バラッド・サイクル試訳（1）」—	
「ロビン・フッドとギスボンのガイ」	金山崇
ポルトガルのセバスチアン伝説についての覚え書	河野彰
アバネダからインカリへ（ペルー土着民の視点）	加藤隆浩・訳
第2部 口承文芸・民俗編	
「ヨリンデとヨリンゲル」と「小さい兄弟」における	
動物への変身	氏原寛・訳
オスチャーク・サモエードの叙事詩（1）	小泉保
「イル・ペコロネ」の梗概	米山喜晟
チリ・サンチャゴで伝承されている早口言葉	三原幸久

* * *

〔以下、A…著書・訳書、B…雑誌掲載論文、C…口頭研究発表〕

* * *

〔中国語学科〕

西村 成雄

B 1	(研究ノート) 南京政権形成期・東北地域政治と民衆運動	大阪外国語大学・アジア研究会『現代アジアにおける地域政治の諸相』 pp. 23-44	1984. 3. 30
B 2	(資料) 日本における中国近代史(1840—1949)研究の現状について	同 上 同上書, pp. 45-56	1984. 3. 30
B 3	(書評) 姫田光義他『中国近現代史』上・下	歴史学研究会『歴史学研究』 No. 527, pp. 35-41	1984. 4
B 4	(書評) 今井清一, 藤井昇三編『尾崎秀実の中国研究』	アジア経済研究所『アジア経済』 Vol. 25, No. 9, pp. 71-75	1984. 9
C 1	論東北抗日游撃根拠地の歴史意義	中国抗日根拠地歴史国際学術討論会(南開大学)	1984. 8. 2
C 2	中国近代史における農業・農民問題——社会主義『国民統合』からみた再構成——	アジアの民族運動とその国際関係研究会(AA言語文化研究所)	1984. 7. 21

〔インドネシア・フィリピン語学科〕

裕野 明久

B 1	インドネシア語の前置詞 UNTUK の `untuk +動詞、における願望標示機能について	大阪外国語大学『大阪外国語大学学報』64号	1984. 3
B 2	インドネシア語の常用色名	大阪外国語大学『視聴覚外国語教育研究』7号	1984. 3
B 3	Satua サトウアーバリ島昔話の世界(研究ノート)	大阪外国語大学『世界口承文芸研究』5号	1984. 3

〔インド・パキスタン語学科〕

桑島 昭

B	インド・ジャイプル藩王国の統合と人民会議運動（続）—農民運動指導者ラーダーバッラブ・アグラワールの回顧に寄せて—	大阪外国語大学アジア研究会 『現代アジアにおける地域政治の諸相』	1984. 3
溝上 富夫			
B 1	Jāpān mē hindī kā prasār aur pračar — samasyāē aur sambhāvnāē—	New Delhi Viśva ke Māncitra par Hindī	1983. 10
B 2	Osakā mē grīṣmakālīn pañjābī gahan pāṭhyakram	Jvaḷamukhī No. 4	1983. 12
B 3	地域研究における言語——南アジア地域における問題点——	海外学術調査コロキウム「地域研究と言語」記録	1984. 3
B 4	パンジャープの民話七篇（翻訳）	大阪外国語大学『世界口承文芸研究』第5号	1984. 3
C 1	東南アジアと日本におけるヒンディー語の普及——可能性と問題点——	第3回世界ヒンディー語大会（ニューデリー）	1983. 10. 29
C 2	大阪におけるパンジャープ語集中講座について	世界パンジャープ語作家会議（ニューデリー）	1983. 12. 24

〔タイ・ベトナム語学科〕

吉川 利治

B 1	Bangkok : The Center for Spiritual Integration of the Central Thai Kingdom	Kyoto University, “States” in Southeast Asia from “Tradition” to “Modernity”	1984. 1
B 2	バンコクにおける神仏像の蒐集・創出と誓忠儀式——国家統合の精神的局面——	大阪外国語大学タイ・ベトナム語学科『タイ・ベトナムと日本』	1984. 2
B 3	タイ国王の即位式に見られる宇宙観	大阪外国語大学口承文芸研究会『世界口承文芸研究』第5号	1984. 3
B 4	タイの王権とインド文化（翻訳）	同上	1984. 3

〔ビルマ語学科〕

南田 みどり

A 1	ミヤタンティン作 『剣の山を越え火の海を渡る』	井村文化事業社	1983.11.21
A 2	テインベーミン作 「第三流の場所」	国際開発ジャーナル No. 328 '83.12月号	1983.12.1
B	LL授業の一環としてのビルマ語書き取りテストの試み	大阪外国語大学『視聴覚外国語教育研究』第7号	1984.3.30

〔英語学科〕

田川 弘雄

A	『視座と構築』（共著）	篠崎書林	1984.5.1
B	A Comparative Study of the Late Plays of Eugene O'Neill and Edward Albee	『大阪外国語大学学報』64号	1984.3.20
C 1	現代アメリカ演劇における登場人物間のコミュニケーション	日本英文学会第56回大会 於関西大学	1984.4.14
C 2	アメリカ演劇の源流を求めて—19世紀のアメリカ演劇—	日米文科系学术交流センター 主催研究集会 於大阪アメリカンセンター	1984.10.27

上野 義和

A	Retrogressive Treatment	大阪外国語大学英語学科研究室 The Reads 16	1983
B 1	英語の総称文とその時制	『大阪外国語大学学報』第62号	1983
B 2	A Note on Some Causative Verbs of <i>Come</i> and <i>Go</i>	大阪外国語大学英語学科研究室『英米研究』13	1983
B 3	英語の相補的反義語について	『大阪外国語大学学報』64号	1984.3.20
杉本 孝司	“Remarks on bare common nouns in Japanese.”	大阪外国語大学『大阪外国語大学学報』64号—創立60周年記念号—	1984.3.20

〔ドイツ語学科〕

八木 浩

A	『ゲオルク・フォルスター作品集 世界旅行からフランス革命へ』(共訳)	三修社〔第20回日本翻訳出版文化賞受賞(1984.11.25)〕	1983.12.15
B 1	翻訳・通訳学の確立のために	日本の科学者 1983.12月号	1983.12.1
B 2	厳しい日本の文化論—龍崎安之助に学ぶ—	世界文学 No. 61	1984.2.1
B 3	ヘルマン・ボーネル先生20周忌を迎えて—ボーネル先生追想記—	Sprache und Kultur 18	1984.3.15
B 4	反核時代の世界の文学 ドイツと日本のドラマを比較して	民主文学	1984.8.1
B 5	西ヨーロッパにおける反核平和の運動	日本の科学者 大阪支部	1984.9.1

乙政 潤

B 1	(紹介) ヒルデスハイム大学の視聴覚センター (AVZ)	大阪外国語大学『AV-Journal』No.4	1983.12.8
B 2	(報告) 雑録・外国語授業をめぐって	大阪外国語大学 ドイツ語学 科研究室 Sprache und Kultur 18	1984.3.15
B 3	場面に対する学生のコメントのテキスト分析	大阪外国語大学『視聴覚外国語教育研究』第7号	1984.3.30
B 4	(紹介) オーストリアの伝説(2)	大阪外国語大学 口承文芸研究会『世界口承文芸研究』第5号	1984.3.31

ヴォルフガング・ゼルトマン (Wolfgang Seltmann)

C	Zur Effektivierung der Hörleistungen bei japanischen Studenten und Schülern im Deutsch unterricht	金澤大学 日本独文学会秋季総会研究発表会	1984.10.6
---	---	----------------------	-----------

〔デンマーク語学科〕

岡田 令子

A 1	『ブナの森はいまつばさをつけて アンデルセンの国デンマーク』	幻想社(大阪)	1983.10.15
-----	--------------------------------	---------	------------

A 2	『現代デンマーク語の発生とその文体的特徴 ーカーレン・ブリクセンの作品を中心としてー』	山口書店（京都）	1983. 11. 15
-----	--	----------	--------------

〔イタリア語学科〕

ミケーレ・マッラ (Michele Marra)

A	Ihara Saikaku <i>Storie di Mercanti. Il Magazzino Eterno del Giappone I Calcoli del Mondo</i>	Torino : UTET	1983
B 1	“The Michizane Legend as seen in the Nō Drama, <i>Raiden</i> ”	Osaka Gaidai <i>Osaka Gaikoku-go Daigaku Gakuho</i> 64	1984
B 2	“ <i>Mumyōzōshi</i> . Introduction and Translation”	Tokyo : Sophia University <i>Monumenta Nipponica</i> , Vol. XXXIX N. 2	Summer 1984
B 3	“ <i>Mumyōzōshi</i> , Part 2”	Tokyo : Sophia University <i>Monumenta Nipponica</i> , Vol. XXXIX N. 3	Autumn 1984
B 4	“ <i>Mumyōzōshi</i> , Part 3”	Tokyo : Sophia University <i>Monumenta Nipponica</i> , Vol. XXXIX N. 4	Winter 1984

〔イスパニア語学科〕

山崎 俊夫

A	企業と経済と法律とー国際経営学研究，特に 途上国理論ー（続）	大阪外国語大学生協刊 1984	1984. 4
B 1	イスパニア国鉄道発達の一世紀半（Ⅰ）	大阪外国語大学『大阪外国語 大学学報』64号（創立六十周 年記念）	1984. 3. 20
B 2	格差と抗争：労使関係の調整（国際比較）ー 研究ノート及び資料（Ⅱ）ー	大阪外国語大学イスパニア語 研究室 <i>Estudios Hispánicos</i> 9	1984. 3. 15

出口 厚実

B 1	Aspectos cuantitativos del orden de palabras en el español contemporáneo	“Lingüística Hispánica” vol. 6	1983. 12
B 2	節の統語型と叙法	“HISPANICA” vol.27	1983. 12

B 3	再帰構造論（3）再帰文のパターンと分類基準	“Estudios Hispánicos”vol. 9	1984. 3. 15
C 1	現代スペイン語における語順の量的側面	関西スペイン語学研究会	1984. 2. 25
C 2	Proform と変項	第4回関西スペイン語研究セミナー	1984. 8. 21 ~ 23

〔ロシア語学科〕

法橋 和彦

B 1	文学をいかに科学的に読むか	日本科学者会議 日本の科学者 Vol. 18 No.12 Dec.	1983. 12
B 2	トゥルゲーネフにおける「フローラ」の思想—二葉亭訳「あひゞき」と「片恋」その他に寄せて	ナウカ社 窓 No. 47	1983. 12
B 3	プーシキンとアダム・スミスの経済思想（2）—カール・マルクス没後100年に寄せて	ロシア・ソヴエート文学研究会 むうさい創刊号	1984. 1

〔法律学〕

貝田 守

A 1	『増補 財産法概説 I』（総則・物種法）	法律文化社	1984. 2. 10
A 2	『財産法と家族法との交錯』（共著）	立花書房	1984. 4. 10
B	ドイツ民法におけるライエについて	大阪外大特定研究 国際関係論の総合的研究 1983年度	1984. 3. 31
C 1	ドイツ民法 Leihe について（1）[BGB§§598 ~601]	なにわ会館 ドイツ財産法研究会	1984. 2. 19
C 2	〃 （2）[BGB§§602 ~604]	〃	1984. 3. 18
C 3	〃 （3）[BGB§§605, 606]	〃	1984. 4. 15
C 4	公務員の不法行為	帝塚山大学 日本法政学会60回大会	1984. 5. 27
C 5	公務員の不法行為—その新局面—	同志社大学 民法学研究会	1984. 7. 21

〔物理学〕

中村 明

B	Exact Explode-Decay Soliton Solutions of a Coupled Nonlinear Schroedinger Equation	日本ぶつり学会 Journal of the Physical Society of Japan 52 巻 11 号 pp. 3713-3721	1983. 11. 15
C 1	2 + 1 次元の NLS 式のばくはつ・げんすいソリトンとひとつの予想	日本ぶつり学会1983年秋の分科会岡山大学にて 応用数学・力学・流体物理の分科会 12 a - R -11	1983. 10. 12
C 2	高次元ソリトン	京都大学きそぶつりがく研究所 基研長期計画研究会「ソリトン系のダイナミクスとそれにかんするカオスのもんだい」	1983. 12. 1
C 3	Explode-Decay Solitons	京都大学理学部 物理教室にて The 7th Kyoto Summer Institute "Dynamical Problems in Soliton Systems"	1984. 8. 30

〔保健体育〕

辻 忠

B 1	男子大学生の生活時間調査—文科系・理科系学生 ₁ の生活時間の ₂ 特徴について—	『学校保健』 26 (2)	1984. 2. 1
B 2	男子大学生の生活時間調査—文科系・理科系学生 ₁ の身体活動量、エネルギー消費量の比較—	『学校保健』 26 (8)	1984. 8. 1